

第 32 回 日本公民教育学会全国研究大会（信州大会）のご案内 （第二次案内）

大会テーマ：社会に主体的に参画できる力を育成する公民教育の在り方

新緑の候、会員の皆様におかれましては、ますます御清祥のこととお喜び申し上げます。

現在 SDGs に象徴されるように、私たちを取り巻く環境は大きな課題を抱えています。経済的な発展は、私たちの生活にある種の便利さと豊かさをもたらしてくれた反面、気候・エネルギー・食料・福祉など様々な分野で社会的課題を深刻化させています。また、グローバル化・ボーダレス化は、経済格差や地域間の不平等を加速化させているともいえ、課題は増加する一方といえます。他方で、Society 5.0 やDXといった言葉に象徴されるように、社会の在り様に対する変化も求められています。

これからの Society 5.0 時代は、予測不可能で不確実な問題が次々と現れてきます。これらの問題に対処するには、「答えがない（又は、答えが一つとは限らない）問題」に向き合い、課題を見だし、いかに解決すればよいかを考え、判断できる子供の育成が重要であると考えます。

これを具現化するため、「令和の日本型学校教育」を念頭に、これからの「公民教育」の在り方について、どのように取り組んでいけばよいのか、先生方の研究実践を基にして研究者・実践者・フロアーの皆様方と一緒に考える大会としたいと考えています。

現在、新年度スタートによる接触機会の増加やオミクロン株への置き換わりなどにより子供や若者を中心に全国的に感染者が増加傾向にあります。御参加される先生方の新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、第一次案内のとおり日本公民教育学会 第 32 回全国研究大会を、信州大学を大会開催校として、オンラインにて開催いたします。午前にはオンライン同時双方向による自由研究発表を、午後は大会テーマに関するシンポジウムをオンラインにて配信いたします。会員の皆様におかれましては、大変御不便をおかけすることになりますが、多くの方から御参加の申込みをいただければ幸いです。よろしくお願い申し上げます。

2022 年 5 月 10 日

日本公民教育学会 会長 大澤 克美
第 32 回大会実行委員会委員長 小山 茂喜

記

1. 期 日 2022 年 6 月 5 日（日）
2. 会 場 オンライン開催 *全日程、Zoom を活用して開催いたします。
3. 主 催 日本公民教育学会
4. 後 援 長野県教育委員会、長野市教育委員会、松本市教育委員会、長野県高等学校長会、信濃教育会、長野上水内教育会、松本市教育会、信州社会科教育研究会

5. 日 程

○6月5日(日)

8:30 9:00 11:50 12:10 12:50 13:10 14:00 14:20 16:50

接続テスト・準備	自由研究発表		理事会		総会 (会員のみ)		シンポジウム
----------	--------	--	-----	--	--------------	--	--------

- ・大会行事は、すべて Web 会議システム (Zoom を予定) を活用し、オンラインで執り行います。
- ・参加者は、事前に Zoom のアプリケーションのダウンロードが必要です。
- ・「自由研究発表」に先立って、接続テスト (8:30～8:55) を行います。

■ Zoom参加に関する諸注意 (抜粋)

※詳細はHPに掲載している「大会参加者ガイドライン」「発表者ガイドライン」を必ずお読みください。

《事前準備》

- Zoomをダウンロードし、インストールしてください。
- カメラ・音声機能が機能するか、当日までにご確認ください。
- 発表に際しては、PCを使用してください。

《分科会参加者》

- 入室前に、名前を「氏名(所属)」変更してください。
- 発表者は「【発】氏名(所属)」に変更してください。
⇒入室後に変更する場合は、Zoom画面の下にある参加者をクリックし、ご自分の名前の右側をクリックした後、詳細で「名前の変更」を選んで変更することができます。
- 発言時以外は、マイクをミュート、カメラをオフにしてください。
⇒質問の際には、マイク及びカメラをオンにし、最初にお名前とご所属についてご発言の上、ご質問ください。
- 発言を希望される方は、リアクションボタンを押してから「手をあげる」をクリックして、司会からの指名をお待ちください。
- 録音、録画、配布された資料の再配付は厳禁です。

《発表者》

- 画面共有にて使用する資料は、一般的な公衆電送権等の範囲内に制限されます。
発表者ご自身に著作権や公衆電送権のない資料の公開はお控えください。
プライバシーの配慮をお願いします。
- 接続の不具合、マイクの不調やカメラの不調について、司会者・大会実行委員会では対応できません。また、接続不良等による発表不能に対しては、代替措置は原則用意できません。安定した通信環境を確保し、ご発表をお願いします。

■ 9:00～11:50 自由研究発表【発表20分、質疑10分】

《スケジュール》＊発表間を5分空けております。

分科会の移動の際は、各分科会のURLよりお入りください。

	時 間	第1分科会	第2分科会	第3分科会	第4分科会	第5分科会	第6分科会
受付	8:30～ 8:55	各分科会に直接お入りください。					
	8:55～ 9:00	各分科会にて諸連絡・発表準備					
(1)	9:00～ 9:30	1－1	2－1	3－1	4－1	5－1	6－1
(2)	9:35～10:05	1－2	2－2	3－2	4－2	5－2	6－2
(3)	10:10～10:40	1－3	2－3	3－3	4－3	5－3	6－3
(4)	10:45～11:15	1－4	2－4	3－4	4－4	5－4	6－4
(5)	11:20～11:50	1－5	2－5				

■ 発表時間 発表20分、質疑10分の合計30分です。

各分科会Zoom発表会場に5分前までに必ずご入室ください。

■ 発表資料及び発表方法

- ・発表時の発表資料（PPT、PDF、Word等）提示は、Zoomの画面共有を活用してください。なお、参加者の（視聴側）通信環境を配慮し、動画や画像などデータ量が大きくならないようご配慮ください。

詳細について、「発表者ガイドライン」をお読みいただきますようお願いいたします。

■ 発表者

- ・自由研究発表の申し込み者は、共同発表を含め会員に限ります。
- ・申し込み者は、必ず当日の発表に加わるようにしてください。

■ 当日発表資料について

- ・当日発表資料については、各自の責任でご提示ください。

■ 発表の中止について

- ・発表を取りやめる場合は、大会前日までに大会事務局までご連絡ください。

■ その他

- ・発表直前及び発表中、通信環境等のトラブルが発生した場合は、各個人宛メールに届けた緊急連絡先に電話にてご連絡ください。実行委員会でも対応いたしますが、不測の事態が発生した場合は、後日、対応策をアナウンスいたします。
- ・Zoomの接続テストを下記の時間帯に行います。Zoomでの発表に不安な方はご参加ください（参加は任意です）。6月4日（土）17:30～18:30 URLは発表者の方に後日連絡いたします。

○第1分科会 司会：磯山 恭子（国立教育政策研究所）・峯 明秀（大阪教育大学）

(1) 9:00～9:30

ケイパビリティと対話に着目した小中一貫社会科カリキュラムの検討
—義務教育最終学年における公民授業に焦点を当てて—

伊藤 真生（飛島村立飛島学園）
真島 聖子（愛知教育大学）

(2) 9:35～10:05

社会科教師の授業観の形成プロセスとそのメカニズムに関する研究
—複線径路等至性モデル図による分析に基づいて—

張 傳博（筑波大学大学院）

(3) 10:10～10:40

戦後初期横浜市における中学校社会科カリキュラムに関する考察

斉藤 仁一朗（東海大学）

(4) 10:45～11:15

Society5.0における市民性教育の検討 —デジタル・シティズンシップの視点から—

木下 祥一（環太平洋大学）

(5) 11:20～11:50

社会科授業における熟議をどのように実現するか？

—米国ワシントン州社会科教師スタンダードと学習スタンダードの関係を手がかりに—

堀田 諭（埼玉学園大学）
川口 広美（広島大学）

○第2分科会 司会：小貫 篤（埼玉大学）・木村 勝彦（茨城大学）

(1) 9:00～9:30

「アライ」の育成をめざすインクルーシブ社会科授業の提案
—川崎バス闘争を教材にした高校公民科単元の開発・実践を通して—

久保 美奈（広島大学大学院）

(2) 9:35～10:05

「生徒の声」に基づく校則見直し活動の意義と課題 —県立A高等学校の事例から—

久保園 梓（筑波大学）
村松 灯（帝京大学）
大脇 和志（筑波大学大学院）

(3) 10:10～10:40

「きまりづくり」体験活動の教育的効果

菊池 八穂子（名古屋学院大学）

(4) 10:45～11:15

地域と連携した主権者教育を進めることの意義と特質
—岡山県公立高等学校における事例を通して—

山田 風紗（岡山大学大学院）

(5) 11:20～11:50

ロシアによるウクライナ侵略の授業化

—原因と解決策、戦争犯罪、「もし日本が侵略されたら」の視点から—

松井 克行（西九州大学）

○第3分科会 司会：桐谷 正信（埼玉大学）・保立 雅紀（愛知教育大学）

(1) 9:00～ 9:30

高校生の政治意識の計量分析 ―大学生の政治意識との関連に向けて―

吉田 剛（宮城教育大学）

横山 奈緒子（仙台市立錦ヶ丘中学校）

(2) 9:35～10:05

「公共的な空間」の位相

今 陽童（埼玉県立大宮東高等学校）

(3) 10:10～10:40

高等学校における主権者教育の効果に関する分析 ―投票意欲の規定要因を探る―

市島 宗典（岩手県立大学）

(4) 10:45～11:15

地域連携に基づく市民性教育におけるコーディネーターの意義と役割

―島根県の高高等学校の取り組みを事例として―

波多野 雅俊（岡山大学大学院）

○第4分科会 司会：栗原 久（東洋大学）・吉村功太郎（宮崎大学）

(1) 9:00～ 9:30

経済的な見方・考え方を育てる小学校社会科授業構成

―スーパーマーケットの価格設定に着目して―

坂井 冴耶佳（香川県高松市立屋島西小学校）

(2) 9:35～10:05

市民としての生き方在り方を考えさせる小学校社会科単元開発研究

―第6学年小単元「ファストファッションで考える未来の社会」を事例として―

福田 友香（岡山大学大学院）

(3) 10:10～10:40

小学校経済学習における新任教員の成長に関する一考察 ―先輩教員の優れた授業の継承と発展―

鈴木 正行（香川大学）

坂井 冴耶佳（香川県高松市立屋島西小学校）

(4) 10:45～11:15

経済的な見方・考え方を働かせる小学校社会科学習

―米づくりのさかんな地域の学習を事例として―

那須 章浩（名古屋市立八熊小学校）

真島 聖子（愛知教育大学）

○第5分科会 司会：桑原 敏典（岡山大学）・小松 伸之（清和大学）

(1) 9:00～9:30

社会的課題に対する「当事者意識」を育成する公民科科目の年間授業計画の策定
—「社会的な見方・考え方」の深まりに着目して—

渥美 利文（東京都立農芸高等学校）

(2) 9:35～10:05

社会をつくり引き受ける力を育成する『公共』のあり方

阿部 哲久（広島大学附属中・高等学校）

(3) 10:10～10:40

勝部真長の社会科教育論 —新制高校社会科における倫理的内容の追加をめぐって—

岡崎 優作（つくば開成学園高等学校）

(4) 10:45～11:15

高校生を対象とした倫理学的思考の教示法についての一考察

中谷 常二（近畿大学）

○第6分科会 司会：中原 朋生（環太平洋大学）・宮崎三喜男（東京都立田園調布高等学校）

(1) 9:00～9:30

多様性を受け入れるシティズンシップ教育カリキュラムの研究
—カナダ・オンタリオ州社会科の「Big idea」に着目して—

周 星星（岡山大学大学院）

(2) 9:35～10:05

小学校における倫理教育の可能性

—ドイツ・テューリンゲン州基礎学校における教科「倫理」を参考に—

原 宏史（東海学園大学）

(3) 10:10～10:40

論争問題学習において子どもが当事者になることの意味

—社会的マイノリティーを生かすカリキュラム論の視点から—

岡田 泰孝（元お茶の水女子大学附属小学校）

(4) 10:45～11:15

持続可能な社会参画を Empower する高校生 Consortium 構築の一実践例

大滝 修（東京経済大学）

12:10～12:50 理事会 *理事のみ

※ Zoom ミーティングで実施いたします。

13:10～14:00 総会 *会員のみ

※ Zoom ミーティングで実施いたします。

※ 会員の皆様には、総会のみのご参加も歓迎いたします。

その際にも、事前登録をよろしくお願いいたします。

《シンポジウム》 14 : 20 ~ 16 : 50

～シンポジウムテーマ～

社会に主体的に参画できる力を育成するこれからの公民教育の在り方

～Society 5.0 に焦点をあてて～

2020 年春から蔓延し始めた新型コロナウイルス（COVID-19）の出現は、私たちの社会生活の在り方を大きく変え、たとえ新型コロナウイルスが収束したとしても、これまでの経験知とは異なった社会生活へ歩を進めなければならない状況になっています。まさに、予測困難な時代に一人一人が未来の創り手となるための生きる力の養成が喫緊の課題とされています。

同時に、Society 5.0 対応に向けた GIGA スクール構想の推進が、コロナ禍対応により環境整備が進んだことから、ICT も最大限活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実も求められています。

このことは、文部科学省が示す「学びの在り方の変革」を私たちがどのようにとらえ、「新たな社会を牽引する人材」の育成という観点で、どのように授業改善を試みていくか改めて問い直すことでもあるといえるでしょう。

そこで、シンポジウムでは、AI 技術が高度に発達する Society 5.0 時代に向け、公民教育において個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実をどのように図っていったらよいかを、中学校・高等学校での実践事例や海外（米国カリフォルニア州）の事例の報告を手がかりに、研究者・実践者・フロアーの皆様方と一緒に考える大会にしたいと考えています。

（1）地域社会の課題解決の担い手の育成を目指す公民教育の授業づくり

— 人的・物的資源の活用に着目して —

井上 昌善（愛媛大学）

岩崎 圭祐（鹿児島大学）

（2）「各国の文脈」を踏まえた論争問題学習の教育的意義

— 日本とフィリピンを結んだ「遠隔授業」を事例にして —

橋本 康弘（福井大学）

兼松かおり・松村一太郎（福井県立若狭高等学校）

（3）公民教育における個別最適な学びと協働的な学びの一体化方略

— 海外（米国カリフォルニア州）の事例を中心に —

駕原 進（愛媛大学）

コーディネーター

田村 徳至（信州大学）

指定討論者

唐木 清志（筑波大学）

樋口 雅夫（玉川大学）

6. 参加費

大会参加費 事前納入のみ (5月25日まで) 1,000円

7. 今後の日程

- | | | |
|--|---------------------|----|
| ・大会参加申し込み締め切り | 2022 年 5 月 25 日 (水) | |
| ・大会ホームページにて発表要旨の公開 | 2022 年 5 月 31 日 (火) | 予定 |
| 大会参加者に Zoom の URL, 発表要旨閲覧サイトのパスワードをメールにて送付 | | |
| ・大会当日 | 2022 年 6 月 5 日 (日) | |
| ・大会ホームページの閉鎖 | 2022 年 6 月 30 日 (木) | |

8. 大会参加申し込みについて

大会に参加するには、必ず事前登録が必要です。

大会に参加される方は、2022 年 5 月 25 日（水）までに
以下のフォームか右記のQRコードから大会のHPにアクセスの後、必要事項を入力し、送信してください。

<https://forms.gle/YR9iS3U89ofLnuNS9>

大会HP QRコード



- ・事前登録と参加費の振り込みの両方されたことで参加受付となります。

9. 大会参加 URL・発表要旨集について

(1) Zoom ミーティングの参加 URL について

- ・参加URLやID、パスワード等については大会参加登録時に記載いただいたメールアドレスに送付させていただきます。（2022年5月31日（火）頃予定）
- ・参加URLやID、パスワード等については参加者に配付しているものです。他人への譲渡・再配付をしないでください。

(2) 発表要旨集について

- ・紙媒体での発刊はいたしません。
- ・発表要旨集は、Zoom参加URL等と同時に、ダウンロードのお知らせをさせていただきます。
- ・発表要旨集は、大会申し込みをされた参加者に対して配付しているものです。他人への譲渡・再配付をしないでください。
- ・発表要旨は6月30日まで掲載閲覧・ダウンロード可能にします。

10. 大会参加費

- (1) 納入先 2022年5月25日(水)までに、以下のいずれかの口座にお願いいたします。
恐れ入りますが、振り込み手数料は各自ご負担ください。

金融機関名：八十二銀行 信州大学前（ハチジュウニギンコウ シンシュウダイガクマエ）支店
普通預金（口座番号 936267）
口座名：日本公民教育学会 信州大会実行委員会
（ニホンコウミンキョウイクガッカイ シンシュウタイカイジッコウイインカイ）

金融機関名：ゆうちょ銀行 店名：一一八（イチイチハチ） 店番118
普通預金（口座番号 4330183）
口座名：日本公民教育学会 信州大会実行委員会
（ニホンコウミンキョウイクガッカイ シンシュウタイカイジッコウイインカイ）

★参加申し込みと参加費を振り込まれた方にのみ Zoom URL をご連絡いたします。

参加事前登録のみでは Zoom の接続情報を連絡できませんのでご注意ください。

11. お問い合わせ

問い合わせ先：第32回日本公民教育学会全国研究大会（信州大会）実行委員会
〒390-8621 長野県松本市旭3-1-1
信州大学 総合人間科学系 教職支援センター 田村 徳至
（TEL/FAX）0263-37-3225 田村研究室 直通
大会メールアドレス shinshu2022koumin@gmail.com

第32回日本公民教育学会全国研究大会（信州大会）
大会ホームページのご案内
<内容>大会のお知らせ、各種申し込みフォーム等を掲載しています。
<URL> <https://kyoushoku.shinshu-u.ac.jp/kyoushoku/20220605/index.html>

本学会では2回目のオンラインによる大会開催となりますが、信州大学での開催自体が初めてとなりますので運営作業・操作の不慣れやネット環境の突然の不具合など、ご迷惑をおかけすることが推測されます。ご理解・ご協力の程、お願い申し上げます。